



満開の笑顔

世界各地で撮影した子供の笑顔を印刷した傘を広げ、希望と平和のメッセージを発信するアートイベント「メリーアンブレラプロジェクト」が9日、神戸港震災メモリアルパーク（神戸市）などで開かれた。北京五輪の開会式で同様のパフォーマンスを手掛けたアートディレクター、水谷孝次さん（59）が主催。「子供たちの笑顔は世界の希望です。3、2、1」。掛け声に合わせて、参加した高校生ら約50人が傘を開くと、鮮やかな笑顔が一斉に広がり観客から歓声が上がった。

写真は水谷さんが阪神大震災や四川大地震などの被災地で撮影した。神戸市長田区の中学2年、近藤穂花さん（14）は4歳当時の写真が印刷された傘を手に参加。母親の徳子さん（40）は「震災後に生まれた娘が家族にとって希望でした」と語った。水谷さんは「屈託のない子供たちの笑顔に救われた」と話した。

被災地で撮影した写真がプリントされた傘をひろげる「メリーアンブレラプロジェクト」＝9日、神戸市中央区の神戸港震災メモリアルパーク

